

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する関西電力株式会社、九州電力株式会社等との面談

2. 日時：令和2年10月8日（木）13：30～17：00

3. 場所：原子力規制庁 16階 A会議室（オンライン開催）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 布田室長、笠川室長補佐、米林主任検査監視官

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 下崎技術研究調査官、伊東技術研究調査官、
濱口技術研究調査官、小城技術研究調査官、
川口技術研究調査官、藤本技術参与

システム安全研究部門 園田技術研究調査官

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力安全部門 安全技術グループ マネジャー 他2名

九州電力株式会社 原子力発電本部

リスク管理・解析グループ 課長 他2名

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループリーダー 他2名

北海道電力株式会社 原子力事業統括部

原子力リスク管理グループ 担当課長 他4名

日本原子力発電株式会社 発電管理室

技術・安全グループ 課長 他1名

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

炉心・安全技術部 制御安全技術課 主席技師 他6名

株式会社 原子力エンジニアリング 解析サービス本部

リスク評価グループ 課長 他2名

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 上級特別契約研究員 他2名

5. 要旨

(1) 本年9月17日の面談に引き続き、関西電力株式会社は、大飯3／4号機レベル

1 P R Aモデルの全ての質問に対して回答を説明した。原子力規制庁は、回答において詳細な説明が必要なものについては、継続して面談で確認していくこととした。

また、原子力規制庁は、今後もさらに大飯3／4号機レベル1 P R Aモデルの知見を充実させるため、意見交換を続けていくこととした。

(2) 本年9月17日の面談に引き続き、九州電力株式会社は、玄海3／4号機レベル1のP R Aモデルの質問に対する回答を説明した。

原子力規制庁は、回答において詳細な説明が必要なものについては、継続して面談で確認していくこととした。

(3) 原子力規制庁は、配布資料(1)及び(2)に基づき、大飯3／4号機、玄海3／4号機レベル1. 5 P R Aモデルに関する質問事項について説明した。

6. 配布資料

(1) 事業者レベル1. 5 P R Aモデル(大飯3, 4号)の適切性の確認のための質問事項(その2)(原子力規制庁資料)

(2) 事業者レベル1. 5 P R Aモデル(玄海3, 4号)の適切性の確認のための質問事項(その2)(原子力規制庁資料)